

会報式号

2010年8月25日

電話 075-691-7561
 発行責任者 石田房一
 広報編集部 松田誠二
 編集部員 清水美優・西片里紗
 木村亜衣・永田裕哉
 印刷 (株) サイズ 075-671-8107



国の重要無形民俗文化財指定
 吉祥院六斎念仏踊り



協力ノ吉祥院六斎念仏踊り保存会、吉祥院子ども六斎運営委員会、菅原町町内会、NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク、解放同盟吉祥院支部

子ども六斎会は、毎週第二・四金曜日、午後七時から吉祥院福祉センターで練習に励み、太鼓の技術も驚くほどに上達しています。

子ども六斎会練習会



真剣に練習に取り組む会員たち

お兄さん、お姉さんの太鼓を叩く姿を真剣な眼差しで見つめ、自ら技術を盗もうとする姿勢が育ってきています。

練習会の見学もできますので、町内の皆様も一度、見学に来て励ましてください。

九月から『子ども六斎体験教室』を開催します。子どもたちに伝統芸を体験させてやっ

詳しくは、吉祥院コミュニティセンターまで。

子ども六斎会という活動する子どもたちも立派な「文化財保持者」ということになるのです。

私たちは、重要無形民俗文化財吉祥院六斎念仏踊りの「伝承・発展」を応援します。(応援する企業等を募集しています)

京都市府知事許可第34654号
 管工事業・ボイラー・配管・溶接・施工据付工事一式
 代表取締役 井上 孝司
井上工業所
 〒601-8395
 京都市南区吉祥院中河原西屋敷町21-1
 電話・FAX (075)311-7430

地域と共に安心 安全をモットーに！
 子どもの安全 第一に頑張っています。
 社団法人全国警備業会々員
(株) ダイヤ・セキュリティ・ジャパン
 〒601-8395
 京都市南区吉祥院中河原里北町38
 富家マンション208
 電話(075)325-0168

株式会社 **サイズ**
 〒601-8336
 京都市南区吉祥院菅原町39-1
 電話(075)671-8107
 FAX (075)671-1618
 ize@zeus.eonet.ne.jp

育成を目指して

六斎担い手育成基金を設置

国の重要無形民俗文化財に指定された「吉祥院六斎念仏踊り」の継承・発展に伴い、「吉祥院子ども六斎会」の担い手育成を計画的かつ継続的に進めることを目的として、『吉祥院六斎担い手育成基金』を設立いたしました。子ども六斎会の様々な育成活動を推進するための必要な資金については、みんなで知恵を出し合い、少しずつ捻出しています。まだまだ十分といえる状態ではありません。今日のこのような景気の冷え込んだ状況

京都新聞2010年3月25日朝刊記事より

伝統の技 若手が守る

「吉祥院六斎念仏踊り」の担い手育成を目的として、吉祥院子ども六斎会が「吉祥院六斎担い手育成基金」を設立した。基金は、子ども六斎会の活動に必要な資金を捻出するために、市民や企業から募金を呼び掛けている。基金の設立は、子ども六斎会の活動の継続と発展に大きく貢献するものと期待されている。

吉祥院子ども六斎会 代表 石田房一

重要無形民俗文化財 六斎の継承 俺がやらねば誰がやる

『重要無形民俗文化財』は、衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗習慣、民俗芸能など、人々が日常生活の中で生み出し、継承してきたものについて指定されます。国はこのうち、特に重要な物について指定するのが『重要無形民俗文化財』です。国が「吉祥院六斎念仏踊り」

を学術的、伝統的な見地から大変重要な価値のある伝統的年中行事として認め、これからも「子々孫々」まで、国の重要な宝として守り伝えて欲しいというお墨付きをいただいたということになります。

『重要無形民俗文化財』という言葉自体あまり聞きなれない言葉ではありますが、重

重要無形民俗文化財 吉祥院六斎

要無形民俗文化財を受け継ぐ、若衆、役員、当役、古役、子どもたちや女性など、保存・発展に関係し、文化財を受け継いでいるすべての人々が「文化財保持者」といっても過言ではありません。

その意味では、吉祥院六斎念仏踊りを受け継ぐ、「吉祥院子ども六斎会」や「六斎歴史研究会」で活動する子どもたちも立派な「文化財保持者」ということになるのです。

伝統文化を守り伝え、子々孫々まで継承しようとするプロジェクトこそが『重要無形民俗文化財』であり、六斎念仏保持者ということになります。

(研究会広報 松田誠二)



オリジナルTシャツ

吉祥院六斎歴史研究会獅子の如く研究員がTシャツや手拭いの六斎グッズを企画制作した。研究員は「六斎のまち吉祥院をPRし、吉祥院のまちを盛り上げたい。」と話す。

十数年たった今でも、臉を閉じればあの日あの時のことか思い出されます。六斎を演じてみよう、自分たちで工夫して仕上げた道具や衣装を使って、いよいよ「舞い」の練習を始めたとき、一年に二〜三度しか見ていない六斎を果たして舞うことができ



子どもたちが制作した獅子

たいて練習する子ども。○等身大の鏡を見ながら、舞いの練習をする子ども。○テープが擦り切れる程、



▲すそ野学習全市交流会で発表。▼子ども六斎の活動について講演する杉田明生氏。



やる気・根気・元氣 負けたらあかん!



吉祥院六斎の継承と今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。 杉田明生

杉田先生たちの熱い指導のもと、着実に実績を積み重ねる子どもたち。当初、保存会の指導が受けられなかったが、保存会側と子ども六斎会側との歩み寄りもあって、保存会が指導することとなる。子どもたちと先生たちの取り組みが保存会や地域住民の重い腰を上げたと言っても過言ではない。「子ども六斎会」の活動で明らかになったのは、地域の伝統文化やアイデンティティを守るといふ目的の他に、子どもたち自身が精神的充足を得るため、自発的に六斎に参加しているということ。杉田先生、貴重なお話ありがとうございました。 獅子の如く代表 石田房一

子ども六斎に想う 伏見・南浜小学校校長 杉田明生 さん 六斎念仏踊りは、平安時代に空也上人が各地で人々を苦しめて疫病を鎮めるため笛や鉦、太鼓を打ち鳴らし、踊りながら念仏を唱えたのが起こりとされ民衆の娯楽性豊かな芸能で市内のわずかな地域で伝承されています。 吉祥院子ども六斎会の『生みの親』として、今も温かい眼差しで子どもを励まし、成長を見続けている杉田明生先生(元吉祥院小学校教頭、現在南浜小学校校長)に「子ども六斎会」の取り組みや数々の思い出をお聞きしました。

食い入る様にビデオを見る子ども。 ○おじいちゃんを練習相手に、家で居間を舞台にしてがんばる子ども。 とりわけ、忘れられないのが子どもたちの頑張りや背中を押され「すそ野

習全市交流会」で体験発表したときのことです。京都市総合教育センターの大ホールで「吉祥院子ども六斎」を演じて、大勢の間たちから大きな拍手をおくってもらったあの日のあの時の感動は、生涯忘れられません。凛々しい姿・逞しい姿・立派な姿を思い出したら今でも目が潤んできます。 どうかこれからも何べんも泣かせてや。頼むで… 待ってるからな!

子ども六斎体験教室

京都は六斎念仏門発祥の地で、念仏芸能が数多く伝承され、盆の年中行事を中心に、今日に伝わる『六斎念仏』も京都を代表する郷土芸能の一つです。1983年1月に「京都の六斎念仏」として、国の重要無形民俗文化財の指定を受けました。吉祥院の郷土芸能をみなさんも一度体験してみませんか。

問い合わせ 吉祥院コミュニティセンター 電話 691-7561 FAX 662-0911

担い手育成基金 設立 獅子の如くオリジナルTシャツ進呈 吉祥院六斎の歴史的意義を地元で伝えるなど、活性化を目指し、担い手育成のため、「吉祥院六斎担い手育成基金」を設立しました。皆様から基金を募り、その際、六斎オリジナルグッズ(Tシャツ)をプレゼントします。基金は、研究会の活動や育成活動に充てます。国の重要無形民俗文化財に指定されている吉祥院六斎の担い手育成にご協力、ご支援をお願いします。 なお、八月二十五日(水)は、吉祥院天満宮舞台横に「基金箱」を設けています。(基金一口 三,000円) 詳しくはコミュニティセンターまで

私たちは、重要無形民俗文化財吉祥院六斎念仏踊りの「伝承・発展」を応援します。(応援する企業等を募集しています) ろばた海鮮厨房 JyuJyu 店主 濱口 翔大 京都市南区唐橋平垣町18武部ビル2F 18:00~21:00 (LO) 日曜定休 TEL 075-661-0029 株式会社 西建 〒601-8343 京都市南区吉祥院稲葉町31番 TEL 075-661-2929 FAX 075-671-8335 NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク 理事長 永田勝美 副理事長 野村良博 副理事長 鈴木敏夫 専務理事 石田房一 獅子丸くん 23ろふれ愛 夢づくり 吉祥院 安心して喜らせるまちづくり